

1. SlackとAlterMoアプリの連携手順

SlackでIncoming Webhookの設定を行います。Incoming Webhookは、外部ソースからの情報を簡単にワークスペースと共有する方法です。Slackの任意のチャンネルにデータを送信します。

Slackの設定画面を開く

<https://slack.com/apps> へアクセスします。

右上から設定したいチームを選択し、「管理」をクリックします。



The screenshot shows the Slack app directory interface for the COSMOWAY workspace. At the top left is the "slack app directory" logo. On the right, there are navigation tabs: "検索" (Search), "管理" (Manage), and "ビルド" (Build). The "管理" tab is highlighted with a red box. To its right is a dropdown menu showing "COSMOWAY" with a downward arrow, also highlighted with a red box. Below the navigation, there is a section titled "アプリを活用して仕事を推進" (Accelerate work using apps). This section includes a paper airplane icon, a description: "レポートの出力、通話の開始、チケットの提出などすべてを Slack で。" (Output reports, start calls, submit tickets, etc. all in Slack.), and a green button labeled "マストアプリを追加" (Add must-have apps). To the right of this section are three icons: Google Drive, Zoom, and a blue arrow icon. Further right is a search results section titled "共有してファイルを検索する..." (Search for shared files...). It shows a user profile for "Lisa Zhang" who "shared this file". Below her profile is a file card for "New Hire Onboarding" from Google Drive. The file card contains a preview of a document with the text "Welcome to Acme Corp. We're so glad you're here!" and a yellow hand icon.

2. SlackとAlterMoアプリの連携手順

カスタムインテグレーション設定を開く

左のメニューから「カスタムインテグレーション」を選択し、「Incoming Webhook」をクリックします。



The screenshot shows the Slack App Directory interface. At the top, there is a search bar with the text "App ディレクトリを検索" and navigation links for "検索", "管理", and "ビルド". A user profile for "COSMOW..." is visible in the top right. On the left, a sidebar menu under the heading "管理" (Management) lists several options: "インストールされたアプリ", "カスタムインテグレーション...", "無効化されたアプリ", "連携アカウント", "ミュートされたアプリ", "アプリの管理設定", and "アクティビティログ". The "カスタムインテグレーション..." option is highlighted with a red rectangular box. The main content area is titled "カスタムインテグレーション" (Custom Integrations) and features a warning message: "カスタムインテグレーションをより機能が充実し、最新の API を使用する Slack アプリに置き換えることをおすすめします。Slack アプリへの切り替えについてもっと詳しく。" Below this, there is a section for "設定済みカスタムインテグレーション" (Configured Custom Integrations) which lists "Incoming Webhook" with a red icon and "8 件の設定" (8 settings).

3. SlackとAlterMoアプリの連携手順

Webhookを設定

「Slackに追加」をクリックします。



Incoming Webhook

説明 設定 セキュリティ & コンプライアンス

このアプリは Slack が開発しました。
このアプリは、サードパーティーのサービスと Slack を連携することができるように Slack チームのメンバーによって作成されました。このようなアプリは、Slack Enterprise Grid や Slack for Teams といった当社のコア製品のサポートのように、Slack によるテスト、記録、またはサポートが行われていない場合があります。 feedback@slack.com 宛てにこれらアプリのフィードバックを送ることができます。

使用するデータは、Slack がすでにアクセスできるデータのみです (詳しくは、 [Slack プライバシーポリシー](#) をご覧ください)。このアプリを有効化または/および使用することで、Slack の一部ではないサービスに接続することになる可能性があります。

詳細とサポート
[アプリのサポートを受ける](#)

通知をしたいチャンネルを選択し（または新規に作成して）
「Incoming Webhook インテグレーションの追加」をクリックします。

チャンネルへの投稿

まず Incoming Webhook がメッセージを投稿するチャンネルを選択します。

チャンネルを選択

または新しいチャンネルを作成する

Incoming Webhook インテグレーションの追加

Incoming Webhook を作成することで、 [Slack API サービス利用規約](#) に同意したものとみなされます。

4. SlackとAlterMoアプリの連携手順

Webhook URLをAlterMoに入力

自動で生成されたWebhook URLをコピーして「AlterMo」の設定画面から検知送信または定期送信に入力することで、チャンネルへの通知設定が完了となります。

セットアップの手順

Slackへデータの送信を開始できるように、着信Webhookの設定に必要なステップを順を追って説明します。

Webhook URL

メッセージの送り方

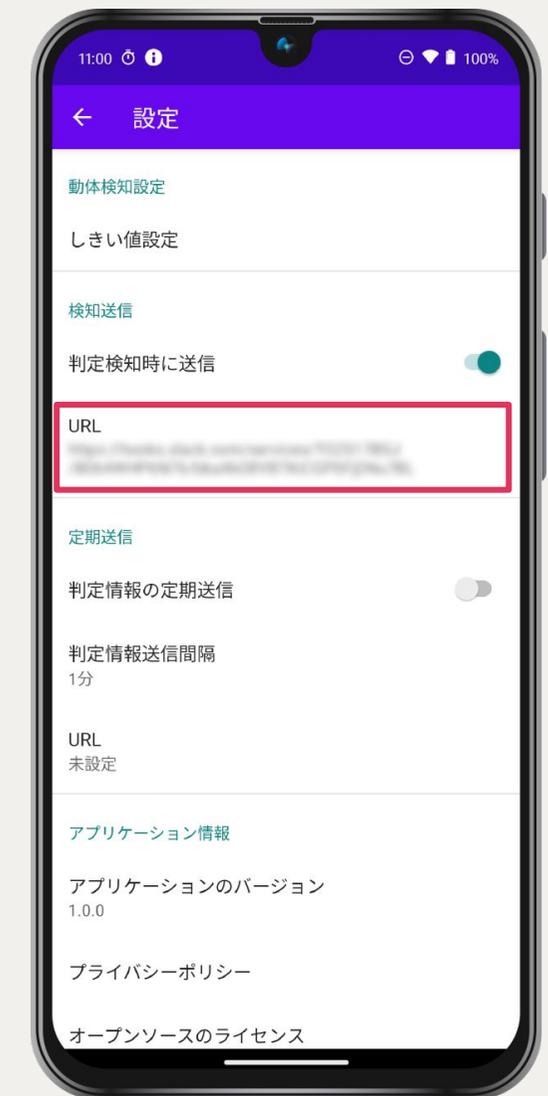
上記のWebhook URLにデータを送信するには2つオプションがあります:

- POSTリクエストで `payload` パラメータとしてJSONストリングを送信する
- POSTリクエストの本体としてJSONストリングを送信する

簡単なメッセージの場合、JSONペイロードには、最小限の `テキスト` プロパティが含まれていることがあります。これは、チャンネルに投稿されるテキストです。

簡単な例:

```
payload={"text": "これは、チャンネル内のテキスト行です。"}
そしてもう1つテキスト行があります。"}
```



設定後、検知されると、Slackの選択したチャンネルに自動でリアルタイム通知されます。